

生活指導便り

令和6年1月12日（金）
江戸川区立鎌田小学校
生活指導だより ⑫
校長 石渡 靖
生活指導担当 橋本

生活指導は学習指導の縁の下の力持ち！

冬休み前に発行した生活指導だより⑪では、お子様の情緒面や社会性の発達についてお知らせしました。今回は次の学年に向けてしっかりと身に付けておく授業が分かりやすくなり、学習への意欲の高まりが期待できる国語と算数の内容についてお知らせします。次の学年まであと3か月となりました。学校でも1年間のまとめとして復習をしていきます。家庭でもお子様の様子を確認していただけたらと思います。

学校での学習時間について

子供たちは1年間で約1000時間、学校で勉強しています。1年生は、1000時間弱（1日5時間×約200日）、6年生で1200時間弱（1日6時間×約200日）になります。休み時間が好き、給食が好きという子供もたくさんいますが、時間にすれば両方とも1日40分程度です。そのため、授業の時間をいかに有意義に過ごすことができるかで、学校が楽しいかどうかが決まると思います。そこで、現在の学年で身に付けておく次の学年の学習が分かりやすくなる国語と算数の内容を紹介します。

できない・苦手＝伸びしろ

できないことや苦手なことは「できるようになる喜びを味わうチャンスが残っている」ととらえ、今のうちに少しでもその「できる喜び」を味わえると良いと思います。できることが増えること、また、できることをよりできるようにすることで、主体的に学習する力も身に付くからです。

できるようになるにもコツがあります。例えば漢字です。4年生以上の漢字は、ほとんどがそれまでに学習した漢字や片仮名の組み合わせです。1年生から3年生までの漢字の筆順や意味をしっかりと覚えることで、覚えなくてはならないことを減らすことができます。

算数でも使う「億」という字は、4年生で学習します。一見画数が多く、難しく見えるかもしれませんが。しかし、分解すると「人＋立＋日＋心」となります。「人・立・日」は、1年生で学習します。心は2年生です。分解の仕方を変えれば「人＋意」になります。意は3年生で学習します。それぞれの部分の形や筆順は変わらないので、形と意味だけ覚えればよくなります。

しかし、偏になると画数が変わるものがあります。4年生で学習する「飯」という漢字は、「食」は2年生、「反」は3年生で学習します。「食」という字は、偏になると一画省略

されます。しかし、食偏の漢字は、すべて同じように省略されるのでそこだけ覚えればよくなります。このように覚えることを減らすこともできるようになるコツです。

さらに、小学生の時に漢字をしっかりと学習しておくことは、自分を助けることにつながると思います。都立高校の入試の国語の問題では、漢字の読み書きで20点分（100点中）出題されます。読みは小学校で習った漢字の特殊な読み方のものが出題される傾向があります。書き問題は2023年の問題は、「投げる」（3年）「宇宙」（両方とも6年）「永遠」（永5年・遠2年）「著しく」（6年）「秒」（3年）でした。過去5年遡っても小学校で学習する漢字が出題されています。

漢字を苦手としているお子様がいます。覚えるのが苦手、書くのが苦手と苦手にも様々な理由があります。それらを克服するにもコツがあり、できるようになると楽しくなります。学校と家庭で協力してお子様の「できる」を増やしていきたいと思います。

<漢字で頭の体操>

右のイラストから想像できる「さんずい」の漢字を思い浮かぶだけ書きましょう。

例 海

こんなものも楽しみながら学ぶことができる例です。



各学年で身に付けておきたい力

1年	国語：ひらがな・かたかながきちんと読めること。 鉛筆を使ってスムーズに書くことができること。 算数：繰り上がり・繰り下がりのある計算が苦なくできること。
2年	国語：ことわざや慣用句を少しでも覚えること。 算数：とにかく九九が少しでも早く計算できるようになること。
3年	国語：3年生までに学習する漢字とその意味。（主に日常の中でよく使われる漢字） 算数：分数の概念と分数の足し算・引き算ができること。
4年	国語：4年生までに学習する漢字とその意味。（主に日常の中でよく使われる漢字） 算数：かけ算・わり算の筆算 分数の大小関係 小数のかけ算・わり算 概数
5年	国語：5年生までに学習する漢字とその意味。（主に日常の中でよく使われる漢字） 算数：小数のかけ算・わり算の筆算 分数の通分・約分 単位量あたりの大きさ
6年	国語：6年生までに学習する漢字とその意味。（主に日常の中でよく使われる漢字） 算数：分数のかけ算・わり算 単位換算

※国語は、各学年で学習した物語を間違えず音読できること。

※算数は、各学年で学習した図形の名前と特徴を覚えておくこと。

〇まとめ〇

学習は、できるようになると楽しいです。上記の表の算数の内容は、下の学年で学習したことを苦手としていると現在の学年の学習がより難しく感じてしまう内容です。次の学年になる前に少しでも「できる」ようにしていきたいと思います。家庭でも前向きな声掛けをお願いします。

頭の体操：解答例 海 河 流 深 浅 波 泡 泳 浜 潮など